

創立 昭和32年4月19日
会長 エレクト 菅生 康 清
副会長 高橋 靖
幹事 関 俊 昭
広報会報記録 中 林 隆 男



事務局 (例会会場)

橿原市久米町 652-2
DAIWA ROYAL HOTEL THE KASHIHARA 4F
TEL/0744-28-2801 (直通)
FAX/0744-28-2802
E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp
TEL/0744-28-6636 (ホテル)

例会日

毎週金曜日
12時30分~13時30分

Vol. 61 No. 46 (2017-18)

2018(平成30)年6月29日発行

6月は、「ロータリー親睦活動月間」(Rotary Fellowships Month)です。

第2982回例会報告書

2018 (平成30) 年6月22日

司会 SAA・野口洋司会員
R.song 我ら日本のロータリアン
ソング・リーダー 森川善隆会員
ピアノ奏者 廣畑弥生さん
デスペラード、美女と野獣

出席報告

正会員 45名
(6/22) 出席者 30名 出席率 83.33%
(6/8 補正) " 33名 " 84.61%

ニコニコ箱

- ◎誕生日お祝い
長谷川博章会員 (6/26)
- ◎結婚記念日お祝い
密門裕範会員 (6/25)

会長挨拶

- (代理：高橋 靖副会長)
- 本日はフォーラムということで、本来ならば会長にこの場に立って頂き、この1年間の総括や感想、皆様への労いをして頂くべきではあるが、次週29日の例会にはご出席されるとのことなので、そちらでお願いしたいと思う。私からはおこがましいのでそのようなことは一切申し上げず、今日の皆様のフォーラムでの本年度活動報告を楽しみにさせて頂き、私も同じく報告をさせて頂きたいと思う。
 - 明日から国際大会が開催される。米田直前会長、菅生会長エレクト、増田国際奉仕部門委員長とともに参加する。私は地区委員としても参加するので、現地では役目として地区親睦夕食会の設営をさせて頂き、2650地区の皆様をお迎えしたいと考えている。来年はハンブルクで開催される。今回参加させて頂き、何らかの形で報告をさせて頂き、来年の菅生年度でのハンブルクでの大会にも参加して頂ければと思う。おそらく米田直前会長から面白おかしく報告して頂けると思うので、是非そのお話を聞いて頂き、来年に向けて準備をして頂ければと思う。来年は

6月前半に開催されるのでご調整頂きたい。では本日もよろしくお願ひしたい。

幹事報告

- △18日(月)朝に発生した大阪北部の地震について、皆様ご無事でしたでしょうか。もし何か被害にあわれた方は、幹事までお知らせ頂くようよろしくお願いしたい。
- △次週は今年度最終例会で、夜間例会。お間違えのないようよろしくお願いしたい。

委員会報告

- 次年度社会奉仕部門委員会：松井大典委員長
・ロータリージュニアサマースクールについて
皆様のご協力のお陰で定員に達したため、募集を締め切らせて頂く。ご協力頂き、感謝申し上げます。

卓話

「クラブ・フォーラム (総括)」

—Club Forum : Summary—

【会計 長谷川博章会員】

今回は事務局で支出明細書を作成して頂き、例会前に確認作業を行いました。ほぼ予算内で収まりましたがそうでない項目もあるため、次年度予算に反映させました。

会員の減少により収入面で厳しい現実があるので補助金を活用して事業活動を行うと共に、無駄な経費は今後も削減する必要があると思われまます。

【SAA 野口洋司会員】

例会が格調高く、品位があり、しかも楽しく和やかな雰囲気の中で会員相互の親睦を深め、ビジター並び

に会員に良い印象を与えるよう会場維持に努めて参りました。

まず本年度は新しい試みとして、ホテル側のイベントで「夏野菜 Buffet」の催事に便乗し、今までと異なった食事の体験(摂り方)をして頂き、好評を博したと思っております。

さて、どの委員会もそうであるように、予算は年々減少傾向にあります。当初、藤岡会長は会員相互の親睦を図るため夜間例会を多くもたれる予定でしたが、そこで夜間例会を多くもつと食事に対する予算がマイナスすなわち赤字の見積もりが出てきました。そういうことで食事の質を落とさず予算内で納めることができたのが本年度実施して参りました、夜間例会の数を少なくしたことです。すなわちランチにするかディナーにするかの違いで予算に大きく影響したということとなります。

ちなみに本年度7月から今年の4月までの例会の食事の余った個数は38個で、金額にして121,781円が無駄になりました。欠席届に協力があれば無駄が減少できたと思います。

また、例会中の私語はほとんどなかったように思われます。昔は会員数が多いこともあって「静かに」というプラカードを作って協力を求めた時代もありました。

最後に30分の卓話が早く終わることが数回あり、事前にプログラム委員会との打ち合わせを怠ったことを反省しております。

【会員増強常任・ロータリー財団常任・クラブ広報常任委員会 米田常彦常任委員長】

本年度、藤岡宏章会長のテーマ「伝統と変化」と活気あるクラブ創りの推進の手段として会員増強・退会防止に取り組んで参りましたが、入会4名、退会2名という結果になり、現状45名です。会長所信の「会員60名の会員増強」には程遠い結果になり、申し訳ありませんでした。

増強活動も対象者は多くおられ、折衝中や、未交渉の方々、返答待ちの方等、まだまだ道半ばです。今後、一部のメンバーだけでなく、危機感と積極性を持ち、会員全員参加で会員増強に取り組む行動を行っていきましょう。

これからのより魅力ある活気ある樫原ロータリークラブをめざして！

<会員増強選考委員会 菅生康清委員長>

本年度は何とか会員減少に歯止めをかけようと尽力しました。

理事会のメンバーも非常に協力して下さり、藤岡会長のお声がけで吉村さん、米田直前会長のお声がけで仲谷さんが入会して下さりました。桜井からはチャーターメンバーのお孫さんに当たる河村さんが入会して下さりました。また近鉄百貨店からは速水店長が津田さんの後を継いで入会して下さいました。

新しい会員が入ると、やはりクラブに刺激を与え活気が出てきます。またクラブ財政にもプラスに働き、やはり会員増強は大切だと改めて感じました。

ただ、昨年末に2名の方が退会されたのが非常に残

念でした。

<ロータリー情報委員会 鍵岡正隆委員長>

委員会の活動として、情報集会を2回開催し、第1回は年齢別4組に分かれ(テーマ:70周年に向かってのあり方)、第2回は地区別3組とし(テーマ:クラブの改善と方向性)、それぞれ活発な意見をして頂きました。情報集会の内容は週報にて掲載しています。

新入会員入会者オリエンテーションを3名の方々に各種資料をお渡しし、会長・幹事様や推薦者の方々にも応援を頂き理解を深めて頂きました。

- ・吉村建設(株)代表取締役 吉村輝高様
- ・飛鳥学院院長 河村善一様
- ・ダイヤモンド開発(株)代表取締役 仲谷 登様

<ロータリー財団委員会 中野利昭委員長>

寄付を通じてロータリー財団を財政的に支援することが努めであり、このことをご理解頂き、ご協力頂いたクラブ会員の皆様に御礼申し上げます

(1)寄付

[年次寄付]

- ・ポールハリスフェロー
(1,000ドル～1,999.99ドル) 2人
 - ・マルチプルポールハリスフェロー1 (PHF+1)
(2,000～2,999.99ドル) 0人
 - ・マルチプルポールハリスフェロー2 (PHF+2)
(3,000～3,999.99ドル) 3人
 - ・マルチプルポールハリスフェロー3 (PHF+3)
(4,000～4,999.99ドル) 1人
 - ・マルチプルポールハリスフェロー4 (PHF+4)
(5,000～5,999.99ドル) 4人
 - ・マルチプルポールハリスフェロー5 (PHF+5)
(6,000～6,999.99ドル) 2人
- 年次寄付、一人年間180ドルは達成致しました。
- ・ベネファクター 1,000ドル 0人

(2)地区補助金の申請

「スペシャルオリンピックス日本・奈良」アスリート支援事業の補助金の申請

7月27日に地区補助金の交付が決定され、5,455\$という多額の補助金を頂き、「地区補助金を活用した奉仕活動」を実行することができました。

(3)ロータリー財団月間

2017(平成29)年11月10日(金)卓話演題:「地区補助金の活用にあたって」

担当:ロータリー財団委員会

<広報会報記録委員会 中林隆男委員長>

藤岡会長の活動計画に基づいて、樫原RCの公共イメージや認知度向上を、広報を通じて実施するようスタートしました。

○主な実施事項

8月早々には、地元樫原市長・奈良新聞等を表敬訪問し、今年度の樫原RCの方針や各奉仕活動計画等の説明を行い、各方面での協力を依頼しました。

「スペシャルオリンピックス」・「ロータリージュニ

アサマースクール」・「樫原 RC 学童野球大会」・「こども達と和のつどい」の実施状況は各新聞社等に広報を依頼しました。

主要な実施奉仕活動については、地元新聞等に収載して頂けたと思いますが、どの程度ロータリークラブの認知度向上に繋がっているのか分かりにくい状況です。

○次年度への申し送り事項

今後の課題として、各奉仕活動の報告だけでなく、地元記者の方々に、時々クラブの例会に出席をお願いし、一層の理解と意見交換を行いタイムリーな広報を図る必要がある。

地元の各市町村の広報紙にも樫原 RC の主な奉仕活動を紹介して頂き、樫原 RC の認知度向上を図る。

会員拡大にも繋がるのではないのでしょうか。

【奉仕プロジェクト常任委員会 菅生康清常任委員長】

・職業奉仕部門委員会 密門裕範委員長

本年度は当クラブ会員でもある奈良芸術短期大学とレストラン「アストリア」に移動例会で訪問した。奈良芸術短期大学では地域との連携についてレクチャーを受け、アストリアでは地産地消について話を聞き、地域の食材の料理をいただいた。

・社会奉仕部門委員会 平田博也委員長

スペシャルオリンピックス日本・奈良のバスケットボールチームへの支援を、地区補助金を使って行った。プロバスケットボールチームのバンビシヤス奈良の選手に来てもらい指導してもらった。また大会で着るユニフォームや道具一式を寄贈した。毎年9月に行われる「クリーンアップなら」の藤原京跡の清掃活動に他団体と共に参加し、美化活動と樫原 RC の知名度アップを行った。

・国際奉仕部門委員会 増田善昭委員長

米国メンロパーク RC、キヘイワイレア RC とは目立った交流はできなかった。姉妹クラブを締結した郡山安積 RC のメンバーと共に3月に行われた台湾桃園福宏 RC 7周年記念式典に藤岡会長を筆頭に7名のメンバーで参加した。明日からはカナダ・トロントで行われるロータリー国際大会に増田夫妻、米田夫妻、高橋副会長、菅生の6名で参加してくる。トロントでの2650地区の会合にも参加する予定である。

・青少年奉仕部門委員会 松井大典委員長

第2回ジュニアサマースクールを8月26日から3日間伊勢の修養団で行った。参加者は約40名と昨年から倍増し、ロータリアンも10名、アクター4名も参加し、大変充実したものとなった。

・青少年活動委員会 豊田博樹委員長

8月、樫原神宮で開催された林間学園に協力した。11月には第9回樫原 RC 杯学童野球大会を開催した。台風の影響でかなり日程がずれ込んだが、何とか無事大会を終えることができた。1月8日にはイオンモール樫原で第7回「こども達と和のつどい」を行い、参加する子供達を励まし、樫原 RC の活動の PR を行った。5月には青少年指導養成プログラム「RYLA」に参加した。

・RA・IA委員会 吉川弘晃委員長

ロータリーアクトは現在12名の在籍である。反省点と

しては、会長、幹事、ロータリーアクト委員会以外の会員の例会への出席が少なかった。会員にもっと出席を申請すべきだった。インターアクトは活動を樫原学院にゆだねているので、例年通りの活動となった。9月23日には特別養護老人ホームかなはし苑に慰問に行き、吹奏楽部と一緒に年寄り演奏を聴かせた。10月27日には RAC・IAC 合同例会に参加してもらい、その報告を行った。

・米山奨学委員会 井上輝好委員長

本年度はベトナムからグエンレ・アンさんを受け入れた。毎月第1例会に出席してもらい、奨学金を手渡している。米山月間では大和高田 RC と樫原 RC で卓話をしてもらった。井上委員長はカウンセラーも兼任しているので、彼女が出席する地区の行事には同行している。次年度も引き続きカウンセラーを担当される。米山記念奨学会への寄付は目標通り会員一人当たり年間24000円を会費と共に徴収し納付した。

各委員会とも大変熱心に担当の奉仕活動をして下さり、同時に樫原 RC の広報にも努めて下さり、藤岡年度を盛り上げて下さいました。

<職業奉仕部門委員会 密門裕範委員長>

本年度は職業奉仕委員会担当例会として、当クラブ会員であります奈良芸術短期大学学長 平田会員とレストラン「アストリア」オーナー豊田会員の協力の元、奈良芸術短期大学とレストラン「アストリア」を移動例会として28名の参加者と訪問させて頂きました。

奈良芸術短期大学では、大学と地域の連携について広報の方からお話を頂戴した後、卒業制作展を見学させて頂きました。その後はアストリアへ移動して、地域の食材を使った特別なお料理を頂戴しながら、地産地消についてのお話を聞いてお店と地域の関わりについて学ばせて頂きました。

いろいろな職業分類の方がおられるロータリークラブならではの学びの多い一日となりました。

<社会奉仕部門委員会 平田博也委員長>

今年度 藤岡会長の強い意向で、スペシャルオリンピックス日本・奈良への支援を、地区補助金を活用し、年度初めに無事に行うことができた。活動内容は、スペシャルオリンピックス日本・奈良のバケットボールチームへの支援を行った。詳細については、2017年9月に行われたスペシャルオリンピックスの近畿ブロック大会に向けて、プロバスケットボールチームのバンビシヤス奈良の選手を呼び指導してもらいスキルアップを図った。また、大会で着るユニフォームや道具一式を寄贈した。プロバスケット選手に会場が湧き、皆 熱心に指導を受け、実力も付き、喜んでもらったと思う。ロータリアンも練習に参加し、彼らへの理解も深まり、スポーツを通じて能力や尊厳を示し、社会とのつながりを強め、人間の多様性を尊重する社会になることを支援でき、良い事業であったと思う。

2つ目の活動として、毎年9月に行われる「クリーンアップなら」の藤原京跡の清掃活動に他団体とともに参加し、美化活動と樫原 RC の知名度アップに貢献できたと思う。

<国際奉仕部門委員会 増田善昭委員長>

姉妹クラブの米国メンロパーク RC、同じくハワイ州キヘイワイレア RC とは目立った交流はできませんでしたが、今後メンバーが米国に観光でも行かれる場合はぜひ両クラブの例会にメーキャップされるようお願いいたします。

また、本年度、当クラブと姉妹クラブの締結を致しました福島県郡山安積 RC がかねてより姉妹クラブの関係にあった台湾の桃園福宏 RC の創立 7 周年記念式典に当クラブよりも藤岡会長はじめ 7 名のメンバーで参加し、台湾のロータリー事情も見聞し、また、それら両クラブと現地にて親交を深めて参りました。

また、6 月 23 日から 27 日にかけて、カナダのトロントで開催されます国際ロータリーの世界大会に菅生会長エレクト、米田ご夫妻、高橋地区国際奉仕委員、そして増田夫婦の 6 名で参加し、国際的な見聞を広めて参ります。

さらに、そこでは当 2650 地区から参加した会員だけの会合も予定されていますのでこれにも参加致します。

<青少年奉仕部門委員会 松井大典委員長>

本年で 2 回目の開催となる、ロータリージュニアサマースクールについては、地域社会の健全な発展に寄与する青少年を育成することを目的として実施した。参加者が昨年より倍増し 40 名となった。ロータリアン 10 名、ローターアクター 4 名と多数の参加があり、充実したものとなった。反省点として、参加者保護者に対するプログラムの内容及び時間割の告知を、開催前の早めの時期に行うことが挙げられる。

【青少年活動委員会 豊田博樹委員長】

〈林間学園への協力〉

榎原神宮で開催された林間学園に協力することにより、青少年の健全育成に寄与致しました。神宮様からも大変喜んで頂きました。

〈青少年指導者養成プログラム「RYLA」への参加〉
〈第 9 回榎原 RC 杯学童野球大会〉

今年度は雨天のため、2 週間の順延になりましたが、38 の少年野球チームに参加頂き、無事大会を終えることができました。当クラブの会員の皆様も、各グラウンドに分かれて頂きまして、始球式や少年野球大会の観戦をして頂きました。

〈こども達と和のつどい〉

イオンモール榎原において発表会を開催致しました。伝統文化を継承する子供達への励ましとロータリークラブの活動の PR に大いに役立ちました。

今年度は皆様の多大なご協力を得て、基本方針通り充実した事業ができたと思っております。

【RA・IA 委員会 吉川弘晃委員長】

本年度は、昨年榎原 RAC 35 周年式典を終え、新たな気持ちで出発することができました。

会員増強については 1 名入会、1 名退会で現在 12 名の在籍でございます。

反省点としましては、アクトの例会や活動に会長・幹事・RA 委員会のメンバーや一部のロータリークラブ会員の出席があったものの、それ以外のロータリークラブ会員にも提唱クラブのメンバーとして、より関わっていただけるよう要請することが不十分であったことです。

インターアクトクラブは、その活動内容はほぼ学校側に委ねていることから、概ね例年通りの活動となりました。また、地区大会などの地区の行事には今年が多数の方が積極的に参加して頂きました。

【米山奨学委員会 井上輝好委員長】

当クラブは 2017 年度米山奨学生の世話クラブを引き受けてベトナムからの留学生グエン レ・アンさん（女性）を受け入れた。奨学期間（当クラブの受け入れ期間）は 2017 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日までの 2 年間で、奈良先端科学技術大学院大学博士課程に在学中で AI の研究をしている。

米山奨学委員会委員長とカウンセラーとしての活動状況を合わせて報告します。

米山記念奨学会への寄付については、地区の目標額通り会員一人当たり年間 24,000 円（前期 12,000 円、後期 12,000 円）を会費と同時に徴収して納付している。

奨学生グエン レ・アンさんは現在、奈良先端科学技術大学院大学博士課程に在学中で AI の研究をしており研究論文を国際学会に提出し、海外の学会で発表している。榎原 RC の例会には原則毎月第 1 例会に出席し、その時に会長からその月の奨学金（14 万円）を手渡している。

また、地区からは奨学生に対する種々の行事の開催や奨学生がやるべき事柄を決めているが、その中の一つに米山月間（10 月）にロータリークラブの例会で卓話をするようになっており、昨年 10 月 3 日（火）に大和高田 RC の例会で、10 月 6 日（金）に榎原 RC の例会でそれぞれ卓話をした。

奨学生に対する地区の行事に彼女が出席する場合は私も同行し参加をしている。私はカウンセラーとして来年度もう一年担当することになっており、グエン レ・アンさんには榎原 RC での奨学生生活が良き思い出に残り、また立派な AI 研究者となり、将来日本とベトナムとの懸け橋となってもらえることを願い支援に努力するつもりです。

【クラブ管理運営常任委員会 高橋 靖常任委員長】

クラブ管理運営管掌の委員会の委員長と委員会メンバーの皆様は、目的を明確に定めた委員会活動と各事業では素晴らしい結果を残して頂きました。本年度の活動が、これからの榎原 RC の活動の糧になると感じております。委員長をはじめメンバーの皆様、そして会員の皆様に心より感謝申し上げます。

親睦活動委員会には、新しくも趣のある会場での望年親睦家族会、歴史や文化を感じる美濃での一泊例会を開催頂き、参加された会員の教養を高めるとともに、感性を刺激頂きました。また、恒例事業に一手間かけることにより、楽しさが倍増することを教えて頂き

した。

プログラム委員会には、タイムリーかつグローバルな視点で、私たち会員に新しい発見をもたらせて頂きました。報道の真実や裏側をもっと知りたいという好奇心に応えて頂くことで、会員満足が高まったと感じています。

出席・ニコニコ箱・ソング委員会には、新入会員を4人も配属頂き、ロータリーの基本やルールをご指導頂きました。そして和やかな雰囲気でお受け頂き、会員の皆様もとても良い気分で例会に臨めたかと思えます。ニコニコ箱はその名の通り、笑顔で取り組んで頂き、しっかりと実績を残して頂きました。また、ソングでは例会冒頭の雰囲気を引き締めて頂くことで、例会運営がスムーズに行えたと感じております。

<親睦活動委員会 辻田真海委員長>

本年度当初に打ち出しました基本方針及び活動計画に従い、委員会一丸となって取り組むことができました。具体的に掲げました計画としましては

- (1)納涼例会・・・近鉄百貨店「展望レストラン・きらりクッチーナ」での開催
- (2)望年親睦家族会・・・フォーシーズンズホテル京都にて開催、総勢66名の参加
- (3)春の親睦一泊例会・・・長良川温泉にて開催、会員22名参加
- (4)受付において来訪者へのおもてなしに於きましては、他クラブビジター・卓話講師等の来訪者の方々に心のこもったおもてなしを心がけました。
- (5)同好会の活動推進については、積極的な同好会への勧誘を行なうと共に、親睦活動費から同好会補助金を支出し、円滑な活動に助力致しました。

以上、会員相互の親睦に努めました。

<プログラム委員会 吉田浩巳委員長>

本年度は9月と3月の2回、プログラム委員会としてイベントを開催させて頂き、特に、講師選定においては、時代にタイムリーでかつ新しい発見につながるような方をお願い致しました。

9月には伊勢志摩サミットが開催された志摩観光ホテルの総支配人をお招きし、会場が志摩観光ホテルに決まるまでのプロセスから、決まってからの準備に至るまでの苦労話、さらには、オバマ大統領をはじめ各国首脳との会話や取り巻きとの打ち合わせなどのエピソードや、米国大統領の専用車は同じナンバープレートで3台用意されていたことや、ガソリンではなく独特の匂いがする燃料を使っている話など、今だから話せるというお話をさせて頂きました。

また、3月には産経新聞大阪本社から編集局次長兼論説委員をお招きしました。5年間のニューヨーク支局長の経験を持ち、さらには韓国でのセウォール号事件関連で産経新聞の記者が拘束された時の現地での対応した自らの経験をもとに、現在のトランプ政権についての分析と今後の北朝鮮の動き、さらには米朝関係などについて、大変興味深いお話をさせて頂きました。

<出席・ニコニコ箱・ソング委員会 森川善隆委員長>

出席委員会は、例会や各種行事の「受付」は気持ち良い雰囲気でお迎えするよう心掛けると共に、会員に「出席率の向上」について協力をお願いし、積年の課題を少しでも改善できるよう活動しました。

特に4月6日第一例会は「出席率100%例会」を周知徹底し、お陰様で「出席率100%例会」を達成することができました。例年通り皆出席の会員には、その努力に敬意を表して記念品を贈呈しました。

ニコニコ箱委員会は、例会場入口にてお声掛けをし、会員皆様方に協力をお願いし、実績を残すことができました。

ソング委員会は、開会冒頭、国歌やロータリーソングを全員で斉唱して、格調の高い例会を演出することができました。

会員皆様方のご協力に感謝致します。

【育英資金委員会 野阪 洋委員長】

私が育英資金委員会の初代の委員長を仰せつかって今年で30年になります。その当時は資金の充実を図ることが基本方針でありました。

今ロータリーの奉仕活動の中では未来を担う青少年育成にあると思います。今年度は会員の総意にもとづいて、適時対応していきました。

【規定審議委員会 松岡康毅委員長】

2019年は、RIの規定審議委員会の開催年度である。

そのためにRIにあげるべき意見の集約が必要であり、理事会にもその旨留意を求めてきたが、格別の要望はないようであった。

当委員会はあまり日常的に行動を要しない委員会ではある。しかし、クラブの活動の現状をしっかりと把握して、時機を失しないで意見を述べるべき委員会である。

現状のクラブ運営は、慣例を尊重してスムーズに行われているが、定款・細則に留意しないで慣例に従っていると、厳密に言えば定款・細則に反する慣行を定着させる危険がある。特に会員身分にかかわる部分については、留意が必要である。

今後の活動としては新しく会長・幹事・理事に選任される方には、定款・細則の熟読をお勧めしたい。

また、委員会としては、クラブの運営の現状について、定款・細則への適合性に留意した点検をお願いしたい。

【地域委員会 羽根史朗委員長】

(1)2017(平成29)年9月3日(日)午前8時30分から1時間「クリーンアップならキャンペーン」への参加

世界遺産登録推進の啓発活動の一環として「小さな親切」運動奈良県本部の主催による「藤原京跡とその周辺」の清掃活動が実施されました。飛鳥・橿原ユネスコ協会も協力することになりました。橿原RCも飛鳥・橿原ユネスコ協会の一員として参加致しました。会長をはじめ、社会奉仕部門委員会、出

席・ニコニコ箱・ソング委員会、地域委員会と協力し、奉仕活動を行いました。

(2)2018(平成30)年3月9日(金)ロータリー情報委員会と共に「クラブ活動の改善と方向性について」というテーマで情報集会を行いました。

(3)地域委員会は各地域の奉仕のニーズを掘り起こすことも重要ですが、本年度は各地域からの奉仕のニーズはありませんでした。

会長総評

(代理：関 俊昭幹事)

突然ご指名頂き、次週の最終例会での会長・幹事退任挨拶で皆様に御礼申し上げるつもりをしていたので、私から総評を申し上げるのはおこがましいが、大きな問題もなく無事に1年間終わることができるのは皆様のご協力のお陰であると思っている。申し訳ないことに副幹事をさせて頂くまであまり例会に出席していなかったもので、副幹事、幹事をさせて頂く中でいろいろと勉強させて頂いた。檀原RCの長い歴史の中でいろいろなことがあったと思うが、近年で一番大きな問題としては、幹事の立場としても予算が厳しい状況になっていることだと思う。年度当初、予算を組み、各委員会へ割り振るときに、もう少し余裕があればいろいろなことができるのではないかと感じた。また皆様もご存知だと思うが、過去のニコニコで集めて頂いたお金を取り崩しているのが実情だ。ニコニコに関しても諸先輩方から「これくらいしていた」というお話をお聞きするが、私も恥ずかしながらあまりニコニコをさせて頂いたことがなかった。長い歴史がある分、それを上手く新入会員に伝えていくことも、時代の違いなどで難しい面があるのではないかと、今後のことも見据え、意識を変えていかなければならないこともあるのではないかと感じた。

今年度の事業に関しては、皆様方の積極的なご協力、ご参加のお陰で大きなトラブルもなく終わることができた。もうまもなく次年度が始まるが、今年度の課題を上手くクリアして頂き、より素晴らしい1年間にして頂ければと思う。

次週の最終例会にて退任挨拶をさせて頂くので、最後までよろしくお願ひしたい。本日はありがとうございました。



6月24日(日)~27日(水) RI 国際大会(カナダ トロント)



【例会ご案内】

7月6日(金)《第1例会》
会長・幹事就任挨拶

7月13日(金)《第2例会》
フォーラム
(会員増強・奉仕プロジェクト)

7月20日(金)《第3例会》
フォーラム
(ロータリー財団・クラブ広報・
クラブ管理運営・特別委員会)

7月27日(金)《第4例会》
担当：プログラム委員会

8月3日(金)《第1例会》
新入会員自己紹介

【同好会】

書道同好会

7月6日(金)・7月13日(金)
8月3日(金)・8月10日(金)
午後2時～ 於：4階 楓の間

【RAC 例会】

[檀原オークホテルにて、午後8時~9時15分]

7月12日(木)《第1例会》
所信表明例会
19:30 開会、21:00 閉会

7月25日(水)《第2例会》
奈良ゾーン代表公式訪問例会
19:30 開会、20:55 閉会

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。